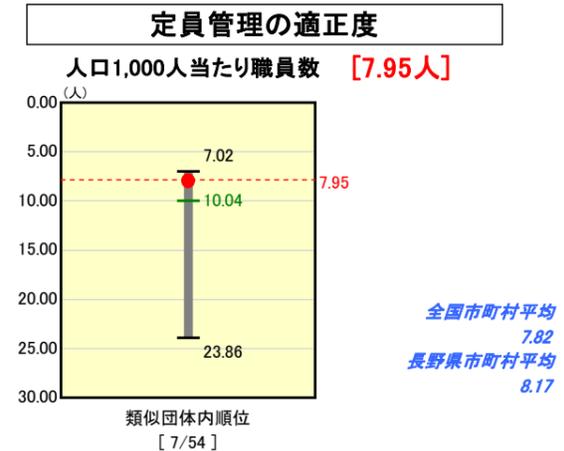
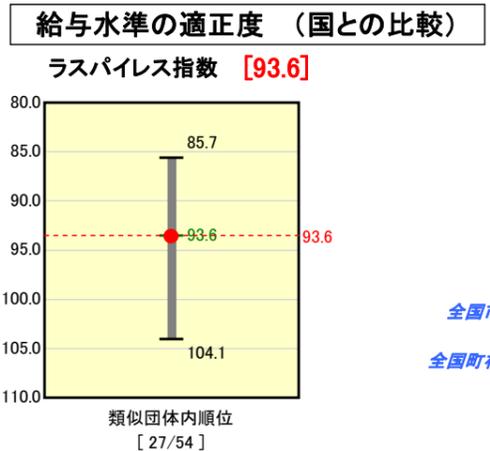
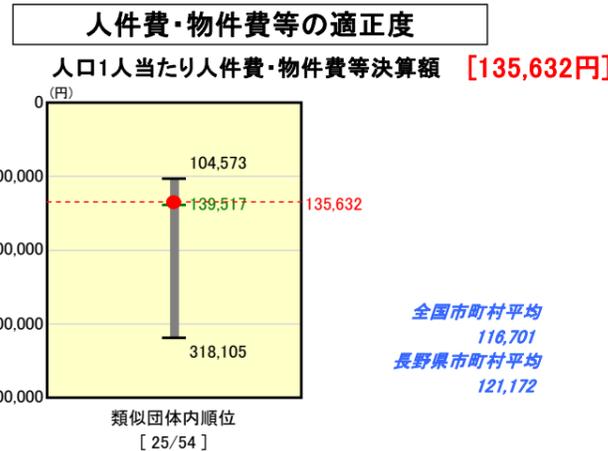
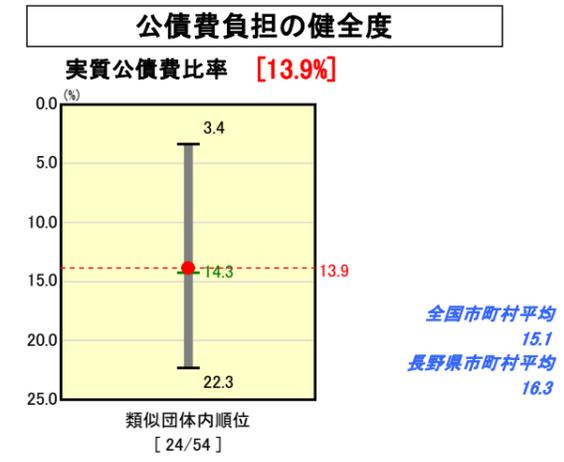
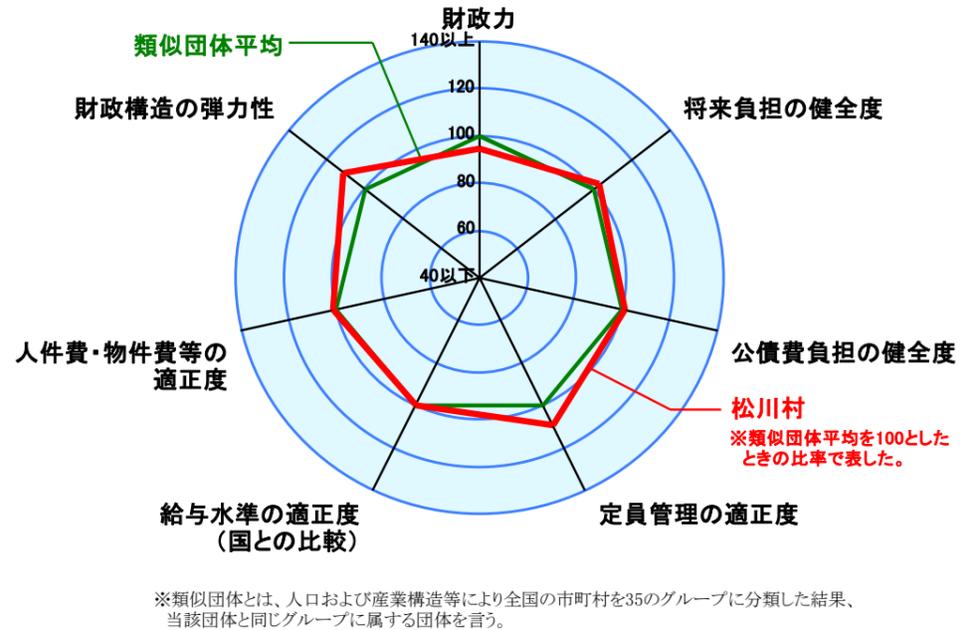
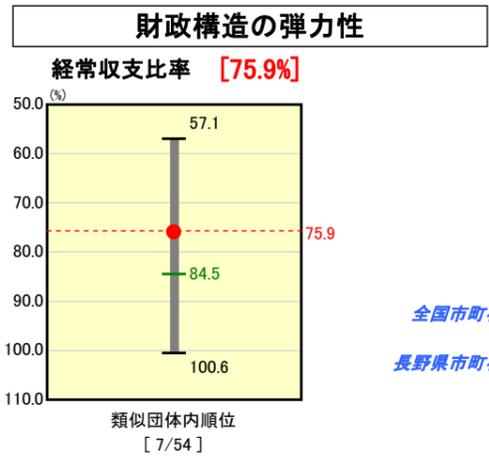
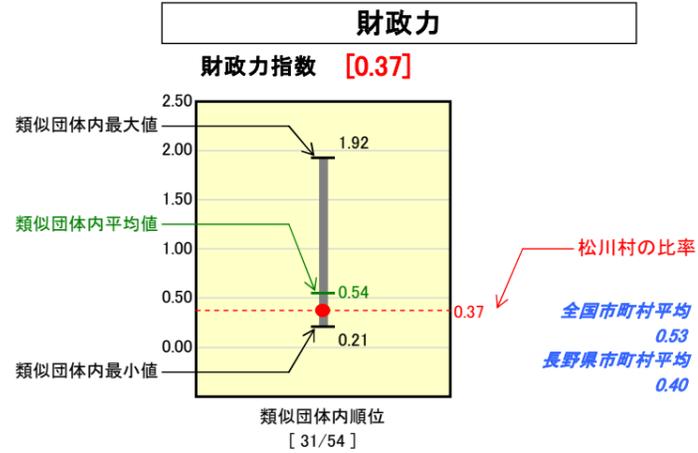


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 松川村

人口	10,067 人(H19.3.31現在)
面積	47.08 km ²
歳入総額	3,807,300 千円
歳出総額	3,747,213 千円
実質収支	9,008 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】ここ数年、微増ではあるが伸びを示しており、0.37となっている。しかし、村内に中心となる産業が無く、財政基盤が弱いのが現状である。平成17年度より造成を開始した工場団地への企業誘致を強力に進め、税収を伸ばすとともに歳出の見直しにより財政基盤の強化を図っていく。

【経常収支比率】平成13年度から高利率の地方債を約5億7千万円繰上償還したことにより公債費が減少傾向にある。また、人件費については退職者補充を見合わせるなど削減に努めた結果、類似団体平均を下回っている。今後も経常経費の削減に努め、現在の水準を維持するよう努める。

【実質公債費比率】過去からの起債抑制により類似団体平均を下回っているが、引き続きこの水準を維持するよう努める。

【人口1人当たりの地方債残高】平成12年度をピークに減少を続けている。今後も地方債に依存する事業は少なく引き続き地方債残高は減少する。

【ラスパイレース指数】類似団体平均と同等となっており、全国町村平均をも0.3下回っている。今後もこの水準を維持するよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】退職者補充の見合わせにより、類似団体の平均を大きく下回っている。更に、定員適正化計画に沿い平成16年度を初年度として平成26年度までの10年間で、9人(10%)の削減を図る。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】平成17年度より634円下がったものの、類似団体及び全国・長野県平均を上回っている。今後は更なる物件費等の見直しを行い抑制を図る。